

第 2 回 神保原駅北まちづくり協議会 会議録		
日 時		令和 4 年 1 月 25 日 9 : 30～11 : 30
場 所		上里町役場 4 階大会議室
出席者	協議会委員	学識経験者 為国 孝敏氏、並木 孝之氏 地元地権者) 片倉 昭弘氏、鈴木 光雄氏、中島 勇郷氏、武野 治氏 区長会 下山 彰夫氏、上野 文一氏 関係団体 木村 芳雄氏、小田島 寛之氏、吉田 仁氏 行政機関 飯塚 雅彦氏、間下 泰晴氏 公募者 上山 弘志氏、黒澤 望氏、森田 将伍氏
	上里町	山下町長
	事務局	まち整備課 相馬課長、飯島課長補佐、伊藤係長、清野主査、松本主任
	コンサル	昭和㈱ 都市調査室：上坂、中島、武井
内 容		
	<1. 開会> <2. あいさつ> 山下町長よりあいさつ <3. 神保原駅北まちづくり協議会設置要綱等の一部改正について【資料 1】> ～飯島課長補佐より説明～ 質疑なし <4. 委嘱状の交付> 山下町長より、区長会を代表し、下山氏に委嘱状の交付 <5. 委員紹介> 事務局より委員紹介 <6. 委員の出席状況報告> 事務局より、田島委員、伊藤委員が欠席される旨を説明 <7. 会議録署名委員の指名> 協議会設置要綱第 8 条第 2 項の規定に基づき、為国会長より「中嶋勇郷氏」、「武野 治氏」の 2 名を任命し、承諾をいただいた。 <8. 傍聴者の入室> 神保原駅北まちづくり協議会の会議の公開に関する要綱 第 2 条」に基づき、本会議は「公開」により行い、傍聴者 2 名の入室及び、第 9 条第 1 項第 4 号の規定に基づき報道関係者の入室を許可した。	

	※上野文一委員より、前回の記録簿の配布依頼を承る
事務局 飯島課長補佐	まず、今回議事録を、開会にあたりましてご用意できなかったことに対して誠にお詫び申し上げます。もしこちらの方、よろしければ、事務局の方で全部はご紹介できませんが、要点について事務局で感じ取ったところをご説明させて頂ければと思っているのですが、よろしいでしょうか。
為国会長	そうですね、それを踏まえて今日の構想案がありますからね、よろしくお願いします。
事務局 飯島課長補佐	会長からも説明があった通り、まちづくり構想のたたき台の部分について主にご意見を伺った所でございます。主なそのご意見は事務局としてもありがたいご意見など紹介させていただきたいかと思っています。まず、委員の方から構想を休日に家族と行きたくなるようなところにするのがいいとご意見をいただきました。実際にこのような構想が実現するためには人を呼び込む必要があり、そのためのターゲットを絞った方がいいというご意見も頂きました。また、せっかく構想をつくるのであれば、上里町らしさを前面に出して、構想の方に盛り込んでいった方がいいのではないかとということがありました。そういったご意見もあり、今回はバージョンアップした構想にしております。また、来年度に予定しております、町民ワークショップをどのように進めていくのか具体的に示してほしいというご意見を頂きましたので、この後説明をさせていただきます。また、その他のありがたいご意見といたしましては、郵便局長様から、建物の建て替えを前提に話をしてきましたが、フロアの共有を行い、住民の皆様の催し物や作業場として活用することを考えているというご意見を頂きました。また、県土整備事務所様から、まちづくりと一緒に県道を整備することが大切であり、地元が束になって機運が上がっていつてもらえれば、県としても優先順位が必然的に上がると前向きなご意見を頂きました。全体を通しまして、委員の皆さんからは前向きな発言を頂きまして、事務局としましても非常に弾みがつき、第一回の協議会に関しましては、成功に終わったと感じている所でございます。以上で簡単ではございますが、こちらで報告を終えたいと思います。 ＜9. 議題＞ ■（1）神保原駅北まちづくり基本構想（案）について【資料2】 ～伊藤係長より説明～ ～以下質疑応答～
黒澤 望委員	1つ疑問に思っていることがありまして、今のジャスコ、トライアル跡地は、少し前は高校を誘致するという話がでていたと思うのですが、基本構想を確認すると誘致に関する話は無いようなのですが、この話はどうなっているのでしょうか。高校が来るのかほかの用途で使用するのかということは町づくりを行うなかで肝となると思うのですがそのことに対して現状どうなっているのかお伺いしてもよろしいでしょうか。
事務局 相馬課長	3月に行ったアンケートでも誘致の件を含めて多くの方にご賛同いただきました。町としても高校の誘致は進めていきたいと考えていますが、構想の中では、「まちなかふれあいゾーン」で実現に向けた主な方策のイメージ（15ページ）で教育機関の誘導として留めさせていただいています。町としては、今現在、大型商業施設跡地が町有地となり、ここで何が出来るかを考えるに当たってもまずここを町の方で取得しないと検討が進められない。そのため現在はこちらの地権者様と協議をさせて頂いております。町の動きとしてはこちらの土地の取得に向けて検討を進めています。それと町の考えとしては、ぜひこちらに教育機関を誘導していきたいと考えていますが、実際にこの土地に本当に相応しいのは何なのかということを町民の皆様、協議会委員の皆様などと話をしながら決定していきたいと思っています。
上野 文一委員	神保原町はトライアル跡地の地権者であるヤマトさんの貢献無くして繁栄は無かったと思っています。私はこの土地を子供が増えないことを考えても教育機関でなく、町の重点地区として拠点にするということをトップが話すべきだと考えています。 また神保原駅について、駅の橋上化はどうなっているか。平成30年に神保原地区の住民の方の署名をもらったときは駅の橋上化が考えられていましたが、その後、現在は考えられていません。この2点に付いて重点的に考えていくべきだと思っています。
事務局 飯島課長補佐	高校の誘致計画に関しては先程お話しがあったように、皆様のご意見を伺いながら、有効利用できるように協力して検討していくことになっています。まちづくりを行うに当たって先ほど挙げて頂いた2点はとても重要になりますので慎重に進めていきたいと考えています。ま

	た、駅の橋上化に関しましては、今後のまちづくりとしてもセットで考えていく必要があるの で、来年度から検討しようと思っています。
上山 弘志委員	先程トライアルの話が出ていたのですが、こちらの委員を拝命してから私もあの地区を詳しく 見たことが無いと思い、車で出向いてどこかで車を置いて歩きたいなと思ったのですが、あ の地区にはあまり駐車場が無くて、車を置くスペースが無かった状況です。このようなことも あったので跡地の一部でも駐車場として開放するのは住民からも喜ばれるのではないでしょ うか。駐車場がなくて車が止められないといったような身近に解決すべき問題があるので、大 掛かりで時間がかかるまちづくりを行うだけでなく、段階を踏んで行っていくべきだと思います。 また、このような車社会で安心して駐車できるスペースがあれば変わるのではないかと感じ ています。
下山 彰夫委員	先程の話と似たことになるのですが良いのでしょうか。
為国会長	はい、どうぞ。
下山 彰夫委員	神保原駅を何十年とずっと使わせて頂いているのですが、駅があるということはそこに人が 集まるということであり、人が集まるから商業施設が発展していると思うのですが、先程上山 さんがおっしゃいましたが、車を自由に止めるところがないですね。トライアルさんは大きい 駐車場があるから車をとめられた。イオンも大きい駐車場があるから人が集まる。それからウ ニクスもそうですよね。その他の所には駐車場が無い。そのためやはり、ここへ集まる人をど う集めればいいのか。どうすれば来た人をそこに留めることができるのかということを考えて いかないと道路の整備を行っても商店を呼んでもそこから始めないとできないのではないかと 思っています。ということは今言った郵便局もそうですけど、そういった駐車場がある場所 にはやっぱりほかの地域でも人が集まっている。要するに車を無料で止められるスペースなど をつくらないと、地図を見てここの道路がどうだとかという話をしてもその中が見えてこな い。計画で決められたことはすばらしいことだとかこんなことが出来ればいいなというイメ ージは湧くけれども、そこに誰が行くのか、どういう風に人を集めるのかと言うのが見えてこ ないです。 数年前にもここのまちづくりのために道路かバスの課題があって、人を集めるには道路網を しっかりさせなきゃいけないのではないのですかという話のなかで道路を拡張した安全な道 路を各地区から神保原駅にどのように結びつけるかということを話しましたが、上里は3万人 くらいいますが、神保原の駅に喜んで来ているかという話なんですよね。そのためどういった 道路網ができるとどういったまちづくりができるのかと持っていく必要があると思っていま す。車を使って神保原に来て車も少し停めてあそこに行ってみたいな、ということが出来ず、 駅前の有料駐車場に止めるしかないということになります。そのためその辺を上手く「ここは 公共の駐車場」ですよというのをポイントとして落としていく必要があります。そこに商業施 設があることで利用者からしてもものんびりできるし、自由に行動できる。駅前に公園ができて いますが、あそこの公園の駐車場も駐車できずオーバーしてしまうことがあり、そうすると道 路に止めています。そういったことも考えていく必要があると思います。
上野 文一委員	道路の話がでたので少しよろしいですか？
為国会長	はい、どうぞ
上野 文一委員	我々が、住民が一番道路の駅前でお願いしたいのは、旧中山道のクランクなんですよね。 本庄警察署長も、去年6月に一番混雑している時間帯、7-8時の間に視察に来られていますよ ね。そこが長年危ない、特にあそこから17号に出る道が狭い。ここが課題なんですよね。交 通整理の方がいなかったら事故が起こっている。通勤する人のスピードは速いし、子どもが通 ると危ない。駅前を広げるにしても切り離してほしいし、早く実現してほしいと思います。
為国会長	ありがとうございます。私は都市計画マスタープランのお手伝いをさせていただいて、そ の時にも言ったのですけれども、こういう基本構想って言うのは平面なんですよね。まちづく りという言葉を使った基本構想である限りは、やっぱりそこにライフサイクルが入ってなきゃ いけない。そのところも都市計画マスタープランをやっている時も一番気になるのは、都市 計画の図面は描くけれども、30年、40年ほっとかれたままのやつが全国各地にあるんですよ ね。私も今足利に住んでおりますが、いつまでたってもできない。そしてその内どんどん社会 状況が変わっていく。というところが、上里町にも同じような状況が来ていると思うんですよ ね。ここでまちづくり構想というような名前前で挙げていくということになると、そこで生活し

	ている人、あるいは来る人、色々な形で関わる人が出てくる訳なので構想の段階ではどこまで書けるかということをご理解いただいております。皆様から出ている意見に関しては、時間軸、空間軸、いつからやりますかというのが平気で出てきます。やっぱり課題を抱えている所から、どうやったら対応できるかというのをみんなで考えながらまとめていってほしいなと思います。そしてそれを色々なところに働きかけてほしいと思っています。 以前の道路のことも地域の人みんながまとまって、町もまとまって、企業もまとまって、それで上里町はこういう風にしよう。神保原駅はこういう風にしよう。という方法を提案して、上里町だけのお金では対応できませんから国や県に上手く働きかけていくには、一丸となったことが必要でその一つがこの協議会でもあると。この協議会だけでは出来ませんけども、今3人から頂いた意見をこのなかにどのように反映させていくべきかと知恵を絞っていただくのが事務局サイドのゴールですね。ぜひそういう風をお願いしたいと思います。 今の話について、課長からどうですか？事務局の方から3人からのご意見に対するお話をお願いします。
事務局 相馬課長	貴重なご意見ありがとうございます。町としまして、こちらのまちづくりについては、13ページの将来像でも、示させていただいた通り、「賑わいとゆとりを感じ、歩いて楽しむまちなか」という将来的な姿を描きながら進めていきたいと思っています。確かに車社会で駐車場が必要だということは理解しています。そういった中で駐車場が無ければ人も集まらないというようなご意見を頂きましたので、人を留める取組を、将来像を描きつつも身近なところからのまちづくりを進めていきたいなと思いますので、今回のご意見を踏まえて、このまちづくり構想の中でどこまで記載できるかは分かりませんが、少なくともにおわせるような表現をしたいと思っています。ご意見ありがとうございます。
為国会長	住むのにちょうどいい町という風書き出したので、「住む」ということはどういうことなのかそこをよく理解してやっていけるといいかなと思います
鈴木 光雄委員	私も今一番思っていることは、前回の会議で話したトライアルの跡地とクランクをどうするかということ。県が携わる仕事ではあるが、優先順位は決して高くない事業ということですよ。そうしたらどうやったら県が仕事に取り組んでくれるかという地域がいかに盛り上がっていくかということと、町としてこの地区に道路を必要とする施設をつくるということがとても大事なのかなと感じました。それはこの協議会が構想を決めるわけなので、その構想の中に県が意見を言ってくれているわけなので構想だからと言ってあきらめるのではなく、書き込めるところは書き込んでほしい。 また、お茶などを飲みに行くと地元の人は構想通りのものがほっといてもできると思っています。もう少し構想の時点で詳しいことを書いていかないと地元の人が動かないことを心配しています。
為国会長	これ本当に基本構想をやって、そのあと基本計画を作って、そして実施計画の形で作ってという風に都市計画を決めるだけで5年6年経ってしまいます。そうするとほかのところでそうですが今、必要な人がいれば来年必要な人たちがいる、というように評価していくところを、チェックしていく機能を十分働かせていかないと多分、鈴木さんがおっしゃったように構想図の絵だけ出してしまうとみんな思ってしまう。だけどもいつまでもできないっていう感じ。これは、さっき区長さんたちからもお話が合ったようにずっと続いてきているのでしょうか。だからあのままクランクが残ってしまっているのでしょうか、じゃあどうしたらいいのって言うのはこの間飯塚さんからお話を聞いたけど、それを盛り込みながら、この協議会でもみんなで「そういうふうにしていこう」というにして、他の所でも町民の人が何とかがんばってみんなでやっていこうという色々な形で盛り上がっていくという仕掛けが必要ではないでしょうか。そしてこういうのが進んでいるときは一つのストーリーを描くことと、ストーリーを実現させるためのシナリオが必要です。なので、ただ作ってこれで終わりましたって言うのは行政多いのですけれど、そうじゃない方向で前に一歩でも進めるようなものをこの中でもにおわせて、構想の段階からかける所はにおわせていった方がいいのではないのでしょうか。
事務局 伊藤係長	構想の中では、やはりどこまで詳細に書けるかという議論はでてくると思います。ただ具体的に書きすぎるのも、そのようにできあがるのではないかなということもあると思います。実際これから基本構想を踏まえて、基本計画を作っていくのですけれども、作っていく前段として、ワークショップなども開催し、そこでいろいろとどこにどのような機能が必要かなどのご意見もいただきながら具体的な整備の方向性など出していければと思います。

為国会長	行政のスケジュールも分かりますが、それやっていると時間なくなっちゃいますよ。構想、基本計画、具体的な計画はいいけどその間に行政サイドも状況が色々と変わってくるんですよ。さっきの高校の誘致であったりとか、あるいはトライアルの跡地を行政が手に入れた時にどうするというのがありますよね。そうするとね、基本構想に書けないのは理解しています。そうじゃなくてここで出た意見をこの構想に入れるのではなく、次の段階にいれてかないと動いていかない。私は久々に都市計画のお手伝いをしているのですが、都市計画をお手伝いして非常に嫌なのは、全然進まないんですよ。今私は公共交通で動いているけど、公共交通１年ごとに変えていかないといけないから、今困っている人もいるからすぐ動かさなきゃいけないのです。そういう基本構想をのんびりやっていけないんですよ。計画を今作っているけど国が要求しているのは、基本計画と実施計画の間くらいのを作って来いっていわれる、交通の場合は。それで困っているんですよ、人口減少時代の社会でどうするって言って。そういう危機感が都市計画側は非常に少ないです。申し訳ないですけど。だから前回も言いましたけど絵にかいて作るだけだったら誰でも作れるから、私手伝わなくても十分できる。けどなんのためにここにきているのかって、都市マスの委員長やらせていただいたって言うのもあるけど、やっぱり困っている人たちが多いんですよ。じゃあそこを行政として取り組もうっていうことをやろうとしているんだから、しかも地権者の方もみんな入ってやろうとしているんだから、形で、行政スケジュールでやるのはいいけれどもそれだけじゃなくてここで出た意見をぜひ実施スケジュールの方に参考にしてほしいですね。ワークショップを開いても同じこと言うと思います。 逆に私は皆さん方に具体的にこれで進んでいくとした場合にどういったことが足りないのか、駐車場が足りないとかを聞きたいです。解消して人が集まれば交通安全の問題が増えるし、どのように商売していくかも考えないといけない。なので、しっかりとしたストーリーを立てないと、まちづくりは形だけで終わってしまう。まちづくりを経験している人間から言うと、もうそういうのはやめたほうがいい。ということ、私を会長にしたのなら覚悟しておいてください。そういうことを、みんなの意見をまとめて訴えかけていきたいなと思います。会長はそういう方向でいきます。やっぱり生活の中でよく考えてほしいのは、今すぐできる話とずっと後でいい、こういう方向で行きたいという話とか、時間軸と誰がやるという、皆さんも良く習った 5w1h ですよ。ここをよく理解して進めないただ意見言うだけで終わっちゃいますから、そこは意識して頂いて具体的に提案をしていくという場にしたいなと思います。はい、勝手なこと言いましたけれども皆さんご意見どうぞ。
上野 文一委員	毎回事務局の方たちに言っているのですが、みなさんは目線が違うんですね。上から目線なんですよ。 これまでの何をしていても意見を反映させるのでなくて、上から「こうなんですよ」「こういう理由があるんです」だから答えも出てこんのですね。だからみんなほんとにね、公務員の方は、本当に町民のためになる発想で展開してもらいたい。だから、先ほどもおっしゃった通り、足りない。PDCA の P がなっていないのです。だから問題になるのです。だからプロセスも上手く行かない。プランができない。これが今日の会議なんですよ。今日議長さんの言葉を借りるわけじゃないけど今までこれはこうだったんだ。この際、いい議長に巡り合えたんだから回復してほしいですね。 以上です。
為国会長	行政も一生懸命やってるんです。行政の中で。ほかどうですか？
森田 将伍委員	先程の話ででた今すぐできる事だったり、住むのにちょうどいい町にしていきたいって話だったんですけど、僕的には、駅前とか商業施設とか道路も大事なんですけど、駅前の昔からある商店街とかそのへんの静かになってしまった場所を何とかするべきだと思っていて、大学に通う時とかも帰り駅の方に行くと、言い方が悪いんですけどやんちゃな子とかがたまっている場合があって、そういうのってやっぱり駅が暗いからだったり、大人の人たちが常に入る環境じゃないからそういう子供たちが増えてきてしまっていると思うので、やっぱり駅の北口から出て、一本の道路って言うのは今すぐ変えないといけないことだし、今は神保原駅に電車に乗るためだけに行くような駅になってしまっているの、それはやっぱり今すぐ直さないといいなことだと思いますし、この資料 2 の 11 ページに書いてある「施設の整備に関する要望」って言うのは上里町全体でなく北口に住む住民の方たちだけにスポットライトをあてて、調査したりとかやっぱり上里町の中だけでも要望は住んでいる場所の違いなどによって変わってくると思うのでやっぱり細分化して聞いていくのも大事ななと思いました。
為国会長	はい、ありがとうございました。いい意見ですね。駅はいろんな人達が使われますからね。駅は人を集める一つのコンテンツにすぎないんですよ。さっきの高校もそうだし、商業施設

	もそうだしそれが一つの集めるコンテンツなんですよ。でもその周りの環境をどうするかといったことで、そこにたまってくれる、あるいは憩える。馴染んでくれる。ちょっと今はこの絵面だけではストーリーがみえてこなくて項目だけ与えているだけ。なので、今森田さんに言っていただいたようなこうなったらこうなっていくって言うのは、この項目の中だけで書けると思うんですよ。そういうのを見せてあげると薄っぺらい計画では無くて、厚みのある構想に繋がっていくんじゃないかと思います。ちょっとそこはテクニック論になるかもしれないけれど、皆さんの意見をそうやって入れていくってことを工夫してみてください。ほかどうですか？
上山 弘志委員	これは心配性なので意見というわけではないのですが、今上里町の北側に本庄道路という大きなバイパスをつくっているのですが、私は仕事柄、都市計画や建築を少しかじっているので、やはり大きな道路ができると、道路の周辺は規制を緩めたりして大きな店舗が建ったり、ショッピングセンターが建ったり、結構行政としても賑わうように誘導していると思うんですよ。そういうところはあの自然と発展して人が集まってということになると思うのですが、そういう時に神保原駅北のまちづくりの計画というのを、同時にバランスをとってみたいのかなっていうことが心配で、町として駅北の計画をこれから進めていくにあたって、どの程度のその町としての覚悟がおりなのかっていうのを心配しています。
為国会長	はい、ありがとうございます。町長の話も含めてかなり覚悟してくれているはずです。上里町全体で考える事、そのなかでのこととか、そういうことを意識して町はやっているはず。そんな中でこんな協議会をつくるってことは、それなりの覚悟をして作っているはずです。そういう風に意識していますのでそこは期待しましょう。
下山 彰夫委員	同じようなことなんですけど、1 ページの基本構想の中の計画区域というのがあると思うんですけど、本庄道路との関係が全く見えないです。現在の 17 号から駅までの間しか考えてない。 将来的に数年後には、本庄道路が開通するわけですよ、明らかにそれはわかっている。また、国土強靱化の時にも話をしたけれども本庄道路がどうして地図の中に入っていないのか、ということ聞いたことがあるんですけど、やっぱりそのへんのところをイメージしておかないと遅れをとっちゃうのではないかと思います。本庄道路まで計画区域にしてそこまでなんとかしなさいでなくて、そのエリアを想定しながら、今目先のところをやりますよ、というような考え方を持てないとだめなのではないかと思います。 もっと言うと、上里町は旧 4 カ村があったわけですよ、小学校区域が。地域が構成されているイメージがないです。神保原駅を中心に人が集まってくるのに駅北だけ考えても難しいのではないのでしょうか。もう少し違った観点からの書き込みができるかできないかでなくて、そういった視点に立って駅北を考えていますよ、というようにやっていかないと地域住民 3 万人の人たちがここに目を向けてくれないですよ。そうしないと住民が一体となれない。駅北の人たちだけで考えるのではなく、町全体で考えていかなければならない。だから区長会が入ってきたのではないのでしょうか。
為国会長	はい、ありがとうございます。そういう視点もぜひ入れてほしいと思います。ただ、だからと言って計画区域を全部広げるっていうとおかしくなるので、そうするのではなくて、これからポイントとなるインフラまたは町の構想を意識してやっていかないと、というお話だったと思います。
片倉 昭弘委員	片倉です。今駅南の話があったと思うのですが、私の子供時代の感覚で申しますと実は駅南の道路が開けている地域は、昔は雑木林の地域でほとんど家などは建っていませんでした。それが時代とともに商業施設などが立地していき、今では空洞化などが問題になっている。今の神保原には駅以外に印象に残るものはない。人を引き寄せる要素がなさすぎるので、もっと具体的に計画を考えていかなければいけないのではないのでしょうか。
為国会長	ありがとうございます。その通りだと思います。これからみんなで頑張っていきましょう。少し時間も無くなってきていますのでどうしてお話したいことだけ話してあとは後から事務局の方に意見を出していただければと思います。
並木 孝之委員	前回と比べて資料がシンプルになったと思います。これをもとにワークショップなどを行っていくと思いますが、この構成や内容だとストーリーとシナリオがみえにくい。もちろんこの後から考えて作ることもあります。ストーリーやシナリオをわかりやすくした方がいいというのが 1 点。

	2点目は、これからのまちづくりはストーリーが少し変わっているということを考えていただいた方が良いでしょう。昔は鉄道の間隔が20～30分かかるため周辺で買い物をするなどで滞留していましたが、今は鉄道運行頻度も高くなり、人が滞留しないなど人の行動が時代とともに変わっています。そういったように時代に合わせて考えを変えていかないといけないと思います。 また、外からの人間から見ると、今回のまちづくり構想は、大規模跡地の拠点を起爆剤としてこの町をどうやって良い町にしていこうかということの戦略を地元と作るものだと思っています。 もちろん駅前のクラックも解消したい、だけでも単なる駅前広場で道路や交通がよくなり安全になるということはもちろん大事なのですが、大規模な開発と合わせてどういった駅前通りができるのかというのが戦略の中心になっているとみています。そのストーリーによってまちづくりも変わっていくということを考えていただければと思います。 現状をどういう風に解決していきたいか、そしてどのツールを使ってやってくかというのをまとめていくのが今回とても重要になると思います。
為国会長	ありがとうございます。お時間が迫っていますので、その他ご意見があれば事務局の方へお願いします。 今並木さんにお話しいただいたように、この構想はパターンが決まっているわけではない。そうすると計画書的なパターンを意識するのではなく、中身を意識して作ってみたほうがいい。それとストーリー、戦略も基本構想の中にかけると思うので、そういうのも入れていかないと薄っぺらいものになってしまうのでそこだけは意識していただきたいと思います。
鈴木 光雄委員	■ (2) 神保原駅北まちづくり町民ワークショップについて【資料3】 ～清野主査より説明～ ワークショップの件ですけれども、このやり方だとイメージで終わってしまうのではないのでしょうか。本当にやるとすれば、現地を歩いて何が課題で何を変えていかなきゃいけないのかははっきりさせるべきです。参加者は実態をつかめない。参加者の方に、今どのような状況なのか理解してもらったうえで話し合いを行わないとイメージだけの話し合いになってしまいます。なので、1回目は全員で現地視察を行って、2回目、3回目は事務局の方で検討して頂きたいと思っているのですがいかがでしょうか。
為国会長	私もそう思います。次の方どうぞ。
片倉 昭弘委員	今鈴木さんがおっしゃった通りだと思っています。それともうひとつ、前にも申し上げたのですが、以前ワークショップを行った際に感じたのは、参加者全員が問題意識を持っているわけではないということです。なので、やはり参加前に1度周辺を見てもらって、神保原の問題意識を整理してワークショップを行わないといけないかなと思います。
為国会長	私もそう思います。せっかく3回やるのであれば内容を変えたほうが良いと思います。見てもらわないといけないと思うし、あと1つ提案したいのが、このメンバーの中には地権者の方もいらっしゃいますから、こういう方たちと意見交換できれば良いと思います。問題を見てきて、地元の人たちにぶついたりして問題を絞り込み、具体的な改善案を考えたりしないと問題意識を全員が持ってくれない。問題意識を持つきっかけがないとワークショップをただやるだけで終わってしまう。ワークショップのテーマは1つでいいからよくあるワークショップで終わらせない方が良いでしょう。
事務局 清野主査	貴重なご意見ありがとうございます。現地視察につきましては、間違いなく行った方が良いでしょう。なので、現地視察を行う方向でもう一度3回のワークショップの内容を再考させていただいて参加者の方にも充実した会議となるようにしたいと思います。また基本計画の方にもいい意見を反映できるような話し合いとなるように進めていきたいと思います。

為国会長	■ (3) 今後のスケジュールについて【資料 4】 ～事務局より説明～ 1つ気を付けてほしいのが、2月3, 4, 5あたりに住民説明意見交換会になっているが、コロナの関係でこれがことごとく中止や延期になっているのでこの時期はまだピークになっているかどうかわからないので地域の人たちと考えてみてください。 <10. 閉会> ～並木氏より挨拶～ 以上
-------------	--